日本航空 OB 乗員 有志の会ニュース

2018. 7. 8
No.18-016

HP：http://jalfltcrewob.web.fc2.com/
Mail：jalfltcrewob@gmail.com

安全で明るい JAL

原告団からカンパのお礼状

ＯＢ乗員有志の会の皆様へ

御礼と報告

連日、真夏を思わせるような暑い日が続いております。諸先輩の皆様、如何お過ごしでしょうか。月日の経つのは早いもので、私たちＪＡＬ不当解雇撤回の闘いも 7 年半が経過いたしました。こうした中、去る 6 月 25 日の原告団合同集会において、「OB 有志の会」の皆様から、更なる多額(100 万円)のカンパをいただきました。誠にありがとうございます。これまでのカンパ総計は 1260 万円となりました。日頃の活動資金として、大いに役立たせていただいております。長期間にわたり争議が継続できておりますのは、「ＯＢ乗員有志の会」をはじめ、社内外の多くの方々の物心両面による支援があってのことと考えております。深く感謝申し上げます。

さて、闘いの状況についてですが、本年 5 月 14 日、JAL 経営は、7 月に LCC 新会社を立ち上げ、2020 年 4 月の就航を目指すと発表しました。そして、これまでの労務方針を変更して、JAL を退職した者に対する制限を撤廃し、特別早期退職者、希望退職者、被解雇者、全てを採用の対象とすることを明らかにしました。同時に、解雇争議の解決に向けた労使の特別協議を開始することを約束しました。こうした会社の対応を引き出したのは、7 年半に及ぶ社内外の運動の成果であると確信しております。

現在、解雇争議の解決交渉が進められております。乗員組合とキャビンクルーユニオンは特別協議の開催を評価、原告団と支援団体対して、全国での宣伝・要請行動を一旦控える要請をする中で交渉を進めています。そして両労組は 5 月 23 日、6 月 12 日に行われた特別協議の中で、解雇争議解決のための「統一要求」に則り、会社に誠意ある対応を迫っております。

こうした中、6 月 19 日の JAL 株主総会で、質疑の最後にパイロット争議団の山

口団長が指名され、次のように発言しました。「最高裁で会社は整理解雇事件で勝ったが、その後に、会社は解雇の手続きで違法行為があり最高裁で負けた。だから、私たちは納得がいかない」「争議を解決して全社一丸となって安全運航にまい進できる日本航空になってほしい」。これに対して、植木会長自ら「組合からの要求に特化した協議の場を設け話し合いを行っている。どういう決着になるか分からないが、株主様の御意見を尊重して、誠心誠意、組合とも話しあっていきたい」と答弁しました。

元々整理解雇の狙いが、経営破たんを口実にした組合つぶし、活動家の排除にありました。正常な労使関係を取り戻し、公共輸送事業として安全で健全な経営を行わせるためにも、この解雇争議は早期に解決させなければなりません。

私たちは納得のいく解決を目指して粘り強く闘う決意です。今後の交渉の進捗状況に注目していただきますとともに、引き続き私たちの争議に対するご支援、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げ、カンパへの御礼と報告とさせていただきます。

ありがとうございました。

2018 年 6 月 27 日

JAL 不当解雇撤回争議団
乗員団長　山口　宏弥
客乗団長　内田　妙子

解雇争議の解決に向けて！
6 月 19 日株主総会報告

詳細は **JAL 不当解雇撤回ニュース 568 号**参照

お手盛り賞与・LCC投資・M&A etc
人員不足でも事業計画は今後拡大
「止むを得ず解雇」の整理解雇者を
統一要求に応え、職場へ戻すのか？

皆さん、緊迫してきました
2018 年も
カンパ支援・取り組み参加
宜しくお願い致します
OB 乗員有志の会：カンパ振込先

今後の日程

＊宣伝行動・各地集会：私たちはあきらめない!!!
原告団 HP 日程参照

＊山口 宏弥氏 著書紹介：「安全な翼を求めて」
アマゾン書評

・詳細は、枠内をクリックして御覧下さい。